

あ と が き

通巻第20号にあたる第5巻第2号をここにお届けする。

本号は前号どおりの方針を継承し、東南アジアにかんする言語学・文化人類学・農学・地質学・医学などの諸分野における現地調査の成果を収載した。とくに兵庫農科大学佐藤孝教授が過去20余年にわたって研究を続けられたヤシにかんする総説を得た。また、外国人との共同研究という意味で異彩をはなっているのは、ソビエト科学アカデミー会員アレキセフ博士と当センター助手高谷博士との共同執筆になるタイ・メナム盆地の上部新生代層にかんする論文である。このような国際的な協力に基づく論文を『東南アジア研究』に掲載できることを嬉しく思う。

また、現地通信としては、マレーシア、カンボジア、フィリピン、ビルマの各地から得た。こうしたレポートによって当センターの活動状況を推察していただけたと思う。

次号は、去る6月開催された東南アジア農業技術シンポジウムの特集にあてる予定である。

執 筆 者 紹 介

佐藤 孝	兵庫農科大学教授（作物学）
西田 龍雄	京大文学部助教授（言語学）
飯島 茂	京大農学部助教授（農業経済学）
松下 進	京大名誉教授（地質学）
M.N. Alekseev	ソビエト科学アカデミー会員（地質学）
高谷 好一	京大東南アジア研究センター助手（地質学）
美濃口 玄	京大医学部教授（口腔外科学）
小野 尊睦	京大医学部助教授（口腔外科学）
佐藤 匠	京大医学部助手（口腔外科学）
天野 義彦	京大医学部助手（口腔外科学）
寺松 孝	京大結核胸部疾患研究所助教授（外科学）
森口 兼二	京大教育学部助教授（社会教育学）
坂本 恭章	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助手（言語学）
法 貴 誠	京大大学院農学研究科（農用原動機学）
大野 徹	大阪外国語大学講師（言語学）
本岡 武	京大東南アジア研究センター教授（農業経済学）
高村 泰雄	京大農学部助手（作物学）
坪内 良博	京大東南アジア研究センター助手（社会人類学）
石井 米雄	京大東南アジア研究センター教授（タイ国近代史）
桂 満希郎	タマサート大学講師（言語学）
吉井 良三	京大教養部教授（生物学）
矢野 暢	大阪外国語大学講師（政治学）